

入院診療計画書

肺炎の治療を受けられる()様へ

病名

病棟

薬剤師

2部 印刷

1部:患者ファイル

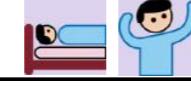
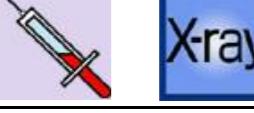
1部:患者様用

主治医

受持看護師

生年月日:

管理栄養士

日付	入院当日(1日目)	2~7日目 症状軽快期	退院(8~10日)
	月 日	月 日 ~ 月 日	月 日 ~ 月 日
目標	・呼吸状態が悪化しない。 ・日常生活動作を維持することができる。(低下しない) ・治療について分からぬ事や心配なことを伝えることができる。		・退院後の注意点が理解できる。
食事	医師が食事の開始や食事内容を判断します。 		
安静度	病状に合わせて医師が指示します。 		
清潔	体を蒸しタオルで拭いて更衣を行います。※介助が必要な場合は、お手伝いさせて頂きます。  ※医師の許可が出ればシャワー浴が可能となります		
治療 注射	静脈に点滴を刺し、抗生素の点滴を開始します。  ※アレルギー歴がある場合は医師または看護師にお知らせください。	点滴の刺入部が腫れたり、点滴が詰まってしまった時には、差しかえが必要です。 血液検査の結果で、抗生素の使用中止を判断します。 熱が下がらず、血液検査で炎症反応も良くなっていない場合は、抗生素を継続したり、 変更を行う場合があります。 点滴から抗生素の内服薬に変更する場合があります。	
	熱がある場合、解熱剤を使用することがあります。 		
検査	必要時、血液検査・胸部X線撮影を行います。 	必要時追加の検査を検討します。 	
内服	現在内服中の薬があれば、お知らせください。※病状により現在飲まれているお薬が中止になる場合があります。		
観察	看護師が直接お話を伺い、体温や脈拍・血圧の測定・呼吸状態の観察などを行います。 気になる症状があれば、すぐに看護師にお知らせください。 		
説明	入院生活について説明します。 	必要時、主治医から病状や血液検査の結果について説明します。 毎週金曜日、回診があります。 	退院後の内服、通院の有無は退院時に お渡しする退院療養計画書をご参照下さい。 薬剤師がお薬について説明します。 
	その他、何か分からぬ事があれば、いつでもスタッフに声をおかけください。 		

※ 上記内容は、現時点での考え方であり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることも

ありますのでご了承ください。

※ ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

◇総合的な機能評価◇ 評価対象外

- ・日常生活動作 問題なし 要経過観察
- ・認知機能 問題なし 要経過観察
- ・意欲 問題なし 要経過観察

※ 特別な栄養管理の必要性 有 無

主治医 印
又は署名
私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

年 月 日 患者 又は 親権者・親族等サイン (続柄)

高知赤十字病院 内科 04-003-PO(患者用)